

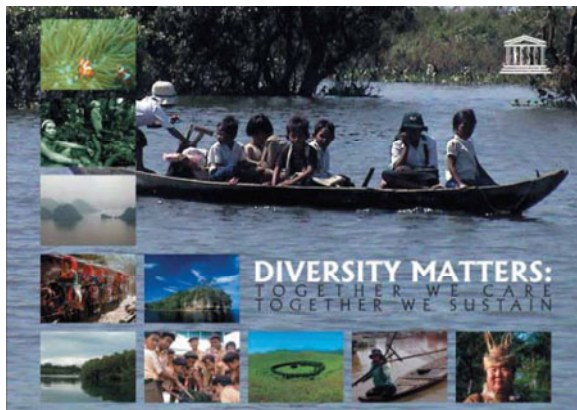


United Nations Pavilion
EXPO 2005 AICHI JAPAN

公開討論

“多様性—共に気づかい、共に維持する”

国連館 2005年9月16日 13:00-16:00



愛知万博のテーマ“自然の叡智”と国連館・ユネスコのテーマ“多様性の祝祭”に基づいて、ユネスコジャカルタ事務所は、ユネスコが支援している多くの現場とそこでの文化的と生物学的価値を紹介しているビデオを国連館に出展します。このビデオは、特に“アジア・太平洋地域の文化・生物多様性に関するチャレンジ”、“持続的伝統活動の重要性”、“現地の方々の環境への認識と理解”“自然資源と環境を脅かす変化への人々の対応”に焦点をあてています。

このビデオに関連して、ユネスコジャカルタ事務所は、公開討論“多様性—共に気づかい、共に維持する”を2005年9月16日に万博会場内国連館にて、三重・愛知県の中学・高校生50人を招待して開催致します。

生徒達は、ビデオで紹介されている環境・文化問題を、中国、カンボジア、インドネシア、ベトナムに関して招待される現地の方々、フィールドワーカー、研究者の話し手と討議します。

ビデオで紹介されている事例

カンボジア：

- トンレサップー「ダイナミックな淡水エコシステムと陸・水エコトーンを導く独特な水文学的形態」

中国：

- エロンチョン遊牧民ー「中国北部の消えつつある伝統的狩猟文化」
- 雲南少数民族ー「人と自然間の調和の長い歴史ある文化」

インドネシア：

- ジャカルター「都市地域からのゴミの脅威にある、ジャカルタ湾に浮かぶ美しい島々」
- マハカムデルター「破壊的エビ養殖により壊されるマングローブ生態系」

- シベルト島ー「非持続的な活動によって脅威にさらされる固有文化と生物多様性」
- バンダ島ー「壮観な景観と豊かな海洋生物多様性」

日本

- 知床ー「際立った生物多様性と自然美が評価され新たに推薦された世界遺産」

韓国

- 済州島ー「伝統的な海女」

パラオ

- パラオー「自然保全の為の伝統的知識」

ベトナム

- カットバ・ハロンベイー「発展する観光産業によって脅威にさらされる海洋景観」